

大分南警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年2月22日（水）

第2 出席者

協議会 委員 10名

警察署 署長、副署長、地域交通官、総務課長、地域課長 5名

第3 議事の概要

- 1 令和4年度警察署協議会代表者連絡会議の開催結果について
協議会会長から、令和4年度警察署協議会代表者連絡会議の開催結果について、報告がなされた。
- 2 業務説明等
警察署から、管内概況について、説明がなされた。
- 3 諮問事項の説明等
警察署から、本年度の諮問事項である「若手警察職員の育成方策」について、説明がなされた。
- 4 諮問事項等に関する意見
 - (1) 委員から「私の職場でエンジニアの教育を行っているが、知識が豊富で優秀な者が教えることがうまいとは限らない。教える人が信頼できる人かどうか、若手であっても優秀で教えるのがうまい者がいる。若手の育成には教える人が1つのポイントとなる」旨の意見がなされた。
 - (2) 委員から「女性職員の育成に関して、セクハラなど発生しないように目を配って欲しい」旨の意見がなされた。
警察から「県警では、セクハラ相談をはじめ、各種サポート制度を作り、対応しているところである」旨の説明がなされた。
 - (3) 委員から「若手の成長のために、取り組んでいきたいことを自己申告させ、「見える化」して、教える側と学ぶ側の認識のずれを修正させ、教える側と学ぶ側の認識を一致させることが大事ではないか」旨の意見がなされた。
 - (4) 委員から、「これまでは、上から下に教えるティーチングが主であったが、

これからは、相手の言葉を引き出して方向性を導き出すコーチングが必要になってくると思う。教える側のスキルが大事で、知識は必要であるが、知識を人に伝えるコミュニケーション能力が必要不可欠であり、コミュニケーションスキルを身につけることが大事だと思う」旨の意見がなされた。

- (5) 委員から「どんな人でも皆迷いながら、考えながら人生を送っている。若手の人はどこで伸び悩んでいるのかを上司が気づいてあげて教えてあげることが必要である」旨の意見がなされた。
- (6) 委員から「私は、職場でメンタルヘルスの相談に応じているが、若手職員は弱い立場にあり、迷いや不安が多い。警察も厚生課に相談できると思うが、敷居が高いと思うので、身近な人に相談できる職場作り、フォローできる職場作りが大切であると思う」旨の意見がなされた。
- (7) 若い人は、熟練の人から教えてもらうことも大切であるが、4～5年先輩の人から教えてもらうことも、質問しやすいだろうし、わかりやすいと思う。教える人の方も勉強になる。もちろん万能な人はいないので、一人任せにするのではなく、何人かで教えていくことも大事だと思う」旨の意見がなされた。

5 答申

協議会から、諮問事項に対して、「現場を数多く経験させること」、「幹部職員、先輩職員による指導教養などにより法的根拠を習得させること」、「ロールプレイングを始め、各種施策によりスキルアップさせること」の3つを骨子とする答申がなされた。

警察署において、答申を踏まえた警察活動に取り組むこととした。